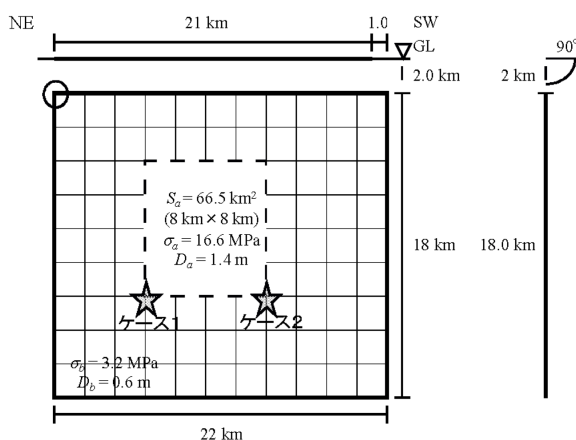


地震諸元

コード	断層名称	断層面のずれの向き		M_j	断層長さ	断層面の幅	断層面の傾斜角	地震発生層の深さ
10701	安芸灘断層群主部	右横ずれ断層	長期評価	7.0 程度	約 21km	不明	不明	下限概ね 20km
			モデル化	M_w 6.6	22km	18km	90 度	2-20km

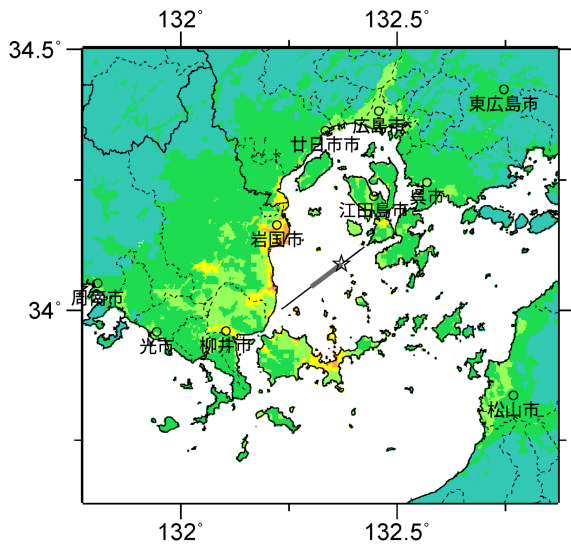
強震動予測のための断層モデルのパラメータ

	長期評価	設定値	
		平均ケース	最大ケース
平均活動間隔	2300 - 6400年程度	4350年	2300年
最新発生時期	約5600年前以後, 約3600年前以前	4600年前	5600年前
30年発生確率	0.1% - 10%	2.8%	9.8%
50年発生確率	0.2% - 20%	4.7%	16%
断層帯原点	(北東端) 北緯 34°07' 東経 132°25' (南西端) 北緯 34°01' 東経 132°15'	-	
活断層長さ L	約 21 km	21 km	
マグニチュード M	7.0 程度	7.0	
巨視的震源パラメータ	設定方法		
断層モデル原点	地中の上端における北東端	北緯 34.1217° 東経 132.4236°	
走向 θ	長期評価の端点を結ぶ方向	N233.0°E	
傾斜角 δ	「不明」	90°	
すべり角 γ	「右横ずれ断層」	180°	
断層モデル上端深さ	微小地震の発生と地震基盤深さを参考	2 km	
断層モデル長さ L_{model}	手続き化の方法に従い設定	22 km	
断層モデル幅 W_{model}	手続き化の方法に従い設定	18 km	
断層モデル面積 S_{model}	$S_{model} = L_{model} \times W_{model}$	396 km ²	
地震モーメント M_0	$\log M_0 = 1.17M + 10.72$	8.98E+18 Nm	
モーメントマグニチュード M_w	$M_w = (\log M_0 - 9.1) / 1.5$	6.6	
静的応力降下量 $\Delta\sigma$	$\Delta\sigma = 7/16 \cdot M_0 / R^3$	2.8 MPa	
平均すべり量 D_{model}	$D_{model} = M_0 / (\mu \cdot S_{model})$	0.7 m	
短周期レベル A	$A = 2.46 \cdot 10^{17} \times M_0^{1/3}$	1.10E+19 Nm/s ²	

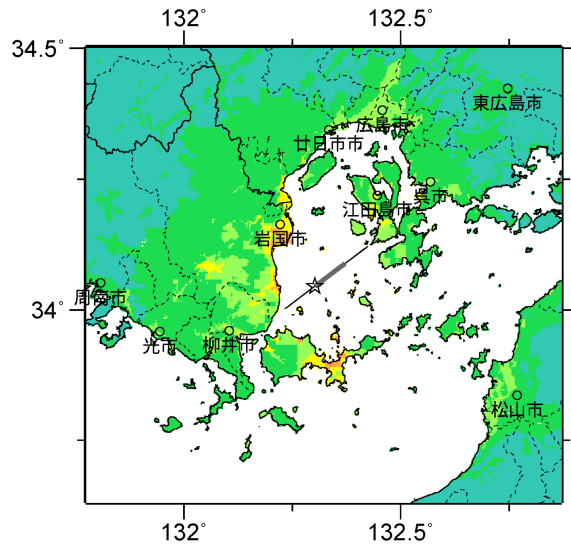


微視的断層モデルとその直交断面

震源断層を特定した地震動予測地図：安芸灘断層群主部

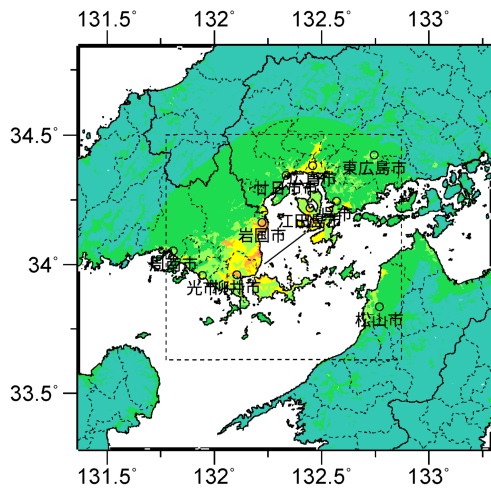


ケース 1



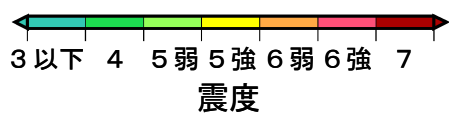
ケース 2

詳細法震度分布



※図中の破線範囲は詳細法による解析範囲を示す。

簡便法震度分布



震源断層を特定した地震動予測地図：安芸灘断層群主部